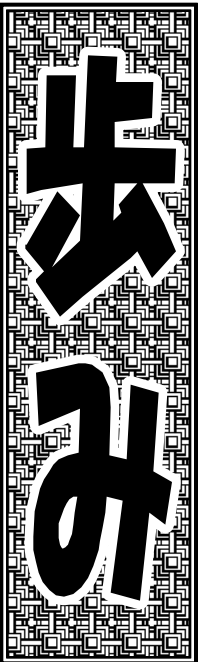


第89回メーデー 大阪・神戸開催



2018.6.5
NO.620号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
06-6574-8424
078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます

大阪メーデー

5月1日 大阪・扇町公園にて清々しい天候のもと、各職場の単産や地域の団体の仲間たち（主催者発表約4500人）が結集し、盛大にとり行われました。労働者の地位向上や生活レベルの引き上げに向け、強い信念を皆が共有しており、例年にも増して熱気に溢れた中での進行になりました。

安倍政権は憲法改悪で、

この国のあり方を根本から破壊しようとしています。強行された特定秘密保護法・共謀罪法・盗聴法拡大などに続き、「戦争放棄」という日本が世界に誇れる憲法9条までもが改悪されようとしています。北朝鮮を始め、世界各地で過度の緊張を誘発するトランプ政権への盲従は、軍事的リスクやアメリカの戦争に日本が巻き込まれる危険を高めるものであり、絶対に阻止しなければなりません。また、暴走を続ける安倍



4,500人集まった大集会（大阪）



デモ行進（大阪）

「港湾阪神支部」が露呈し、批判が噴出ししています。「森友・加計疑惑」や防衛省の日報隠蔽、厚労省のデータ改竄など、政治を私物化し民主主義を破壊しています。追隨する維新政治を含め、国民の怒りは更に高まるばかりです。

そして、アベノミクスの5年間で格差が更に大きくなる中、「働き方改革」をも強行しようとしています。非正規労働者が4割に達する一方、長時間過密労働や過労死は後を絶ちません。実質賃金の伸び悩みが消費・支出を停滞させ、地域経済と中小零細企業の経営を疲弊させる悪循環が続いています。政府は財界の要求に沿って過労死を合法化し、雇用を破壊する「働き方改革一括法案」を強行しようとしており、全ての労働者・市民は共同し、たたかいを広げていかなければなりません。

我々労働者は、「8時間

働いて普通に暮らせる賃金、働くルールの確立」を目指し、安倍政権打倒、維新政治打破に向けてたたかいを発展させましょう。そして、「人間らしく生きる権利」を守るべく、これからの運動を広げていきたいと思います。

神戸メーデー

5月1日、神戸の東遊園地に於いて、第89回兵庫中央メーデーが開催されました。

メーデーは労働者の日です。「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」と題して、戦争法の廃止と9条改憲反対、生産性向上のため、労働者の実



横断幕でアピール（神戸）



宣伝カーもメーデー仕様に（神戸）

「第22回労職対学習交流会」

日程：7月14日(土)
13時30分受付 14時00分開始
場所：神戸市勤労会館 308号室
講師：宮木 義博
(全労働省労働組合 近畿地方協議会)

態を顧みない安倍「働き方改悪」に反対し、8時間働いて普通に暮らせる社会の実現などを訴えました。その後、1500人の参加者でプラカードや横断幕を掲げシュプレヒコールの声をあげながら、東遊園地から県庁前まで大規模なデモ行進を行いました。



映画「キー・ラゴ」という作品の中に気の利いたこんなせりふがある。唇の上へこみがあ。そのわけを父が幼い子へ話して聞かせる。知ってしまったことを誰にも教えたくない、口の上には天使が置いた「指のあとなんだよ」とこのところの紙面を読みながら、このせりふを重ねる。天使かどうかは別にして、関心を集める事案にかかわった人たちはまだ唇に指を当て続けているのか。一つは加計(かけ)問題で愛媛県が提出した新文書のこと。もう一つはアメリカンフットボールでの関学大選手への日大選手への反則行為である。安倍首相は加計理事長との面会を、日大側は選手へ危険なプレートを指示したことを、それぞれ否定した。愛媛県知事が言つように、県が公文書を改ざんする理由はどこにもない。退路を断つたかのように記者会見した日大選手ももうそをつく必要はない。公文書は正直に事実を書き残し、20歳の若者は勇気を振り絞って非を認め、正直に語っていたように思えた。他の人たちがも本当のことを話してもらいたい。唇に押し当てた事なかれや保身の指は、もう外したらどうか。

おおさか総がかり集会 9条改憲許さない！ 戦争しない国・恒久の平和を守ろう



9条改憲阻止に約2万人もの人が集った

アジアでの非核化に向けた新たな第一歩が始まるようにしていきましょう。

昨年、国連で核兵器禁止条約が採択され各国で締結の動きが加速しています。集会では「戦争する国づくり、憲法と民主主義の破壊に暴走してきた安倍政権。そして、激変する国際情勢に的確に対応する能力のない安倍政権は、一刻も早く退陣させよ」と全体で集会宣言が確認されました。

集会后には扇町公園に結集した仲間と共に「市民と

安倍首相は異様な執念を燃やし、危険この上ない9条改憲を強引に押し進めようとしています。こうした中、「安倍9条改憲許さない！5・3おおさか総がかり集会」が扇町公園で開催されました。約2万人が集結し、阪神支部からも執行部と8分会で総数24名が参加しました。

いま、世界と人類の歴史に新たな一歩が刻まれようとしています。地球上で唯一冷戦（休戦）状態が続いてきた朝鮮半島に、戦争状態を終結し平和が訪れようとしています。また、北東

進められ、近い将来に条約が発効することが確実視されています。しかし、安倍政権は、大きく変化する北東アジア情勢に対して、ただ傍観するしかないという無能さをさらけ出し、唯一の被爆国でありながら核抑止力の呪縛に縛られ、核兵器禁止条約にも背を向けています。国内政治においても、安倍



大規模なデモ行進での呼びかけ

5月3日に東遊園地で行われた憲法集会に執行部13名、神戸ブロック2名で参加しました。

前日までの雨も止み、天候に恵まれたこともあり、主催者発表で約9千人の方が集まりました。

ゴールデンウィークの最中にこれだけの人が集まるという事は、現政権下での現在の安易な改憲ありきの議論に危機感を抱いている



東遊園地で大規模集会

る人が多くいるということを感じました。

憲法集会では戦時中を知る高石ともやさんの歌や、歌にまつわるエピソードや体験談を聞き、実行委員会の羽柴修代表の話がありました。

福島出身で「はだしのゲン」や「チェルノブイリの祈り」を講演作品に持つ講師 神田香織さんの訴えを聞き、戦争をできなくし

5・3 兵庫憲法集会 改憲阻止へ一致団結 憲法を守ることに多くの人が関心

野党の共闘の大きな力で、安倍政権を一日も早く退陣させよう！」「いのちとくらしと人権がしっかりと守られる社会を実現しよう！」と、声を上げデモ行進が行われました。

未来を見据えても9条改憲を許さない運動は、平和を守るうえで最も重要です。「戦争する国づくり」に暴走する安倍政権に対して、我われ一人一人が「恒久の平和」を考え、「戦争しない国づくり」として多数の力とならなければなりません。

書記次長 久保田 稔



祝日で人の多い沿道にアピール

ている現在の憲法の重要性を再認識し、この憲法を守っていかなくてはいけないと改めて思いました。

また、立憲民主党の方も次の参議院議員選挙では改憲勢力を3分の2以下にしなければならず、現在は3議席全てを改憲派で占められている兵庫県の改選議席を最低1つでも取らないといけないと強く語っておら

れました。改憲阻止のためには一致団結が必要だと思いました。

集会后は3方向に分かれて、パレードを行いました。我々は三ノ宮駅前までフラワーロードを北上し、そこから元町までセンタープラザ沿いの西進するルートを進めました。

ゴールデンウィークのまつただ中ということもあり、沿道には多くの方がパレードの様子を見ていました。その沿道の方々に少しでも改憲など必要のない現在の日本国憲法について関心を持ち、憲法について考えてもらうためのアピールになればと思うと共に、我々の考えや思いが伝わればパレードを行った意味もあるとの有意義な気持ちでパレードを完了しました。

内外フオーディング
分会 脇坂 光一

大港労協第7回港湾セミナー 日本のコンテナ港湾政策を紐解き学ぶ

5月19日(土) 大阪港湾労働者福祉センターにて、大港労協第7回港湾セミナーが行われました。阪神支部からは24名が参加しました。

開会の挨拶で大港労協の三宅事務局長は、「万博IR総合リゾート誘致など、大阪港の港湾労働使は反対していない。しかし、そのことで港湾の機能を阻害することが無いようにすることが条件だと要請していく」と話されました。

守責之氏を講師に招き、「スーパー中枢港湾プロジェクトと国際コンテナ戦略港湾政策。2つの港湾政策が持つ意味」と題した講演が行われました。

講演では、岡山大学大学院社会文化科学研究の津

湾の役割が軽視され、クルーズ港湾政策やリゾート誘致などが優先されてしまうこと。しかし、このような時こそ労働組合がさらに運動を強化し、港湾の行く先を正す活動が必要だと

港の役割が軽視され、クルーズ港湾政策やリゾート誘致などが優先されてしまうこと。しかし、このような時こそ労働組合がさらに運動を強化し、港湾の行く先を正す活動が必要だと

は、今後の港湾労働の将来を切り開くものとして評価することができま

は、今後の港湾労働の将来を切り開くものとして評価することができま



パワーポイントを使って詳細に解説

セクハラ意識の低い ジェンダー後進国 日本に未来はあるのか

セクハラ発言報道をめぐり、福田淳一事務次官が辞職し、財務省は「減給20%、6か月の懲戒処分」を発表した。

マスコミ報道でも濃淡が。辞任翌日の朝刊での扱いを池上彰さんはこう分析。

今回の対応では、政権内のセクハラ意識の低さが露呈した。

朝日・毎日1面トップ、読売は1面左肩であったが、日経は何と5面の経済面にわずか3段の記事だった。

主張

数々の疑惑解明はせず、命を奪う悪法をまたも強行か

しかし安倍政権は、国会の根本にかかわる深刻な大問題に向き合おうとせず、数の力を振りかざし、悪法を強行する許し難い暴走に拍車をかけています。

刑罰が禁じる賭博場・カジノを解禁するカジノ実施法案を22日の衆院本会議で審議入りさせたのに続き、

23日には米国を除く環太平洋連携協定(TPP)加盟11カ国による新協定の関連法案の採決を衆院内閣委員

会で強行しました。あまりに乱暴な国会運営です。連休明けに本格審議が始まったばかりの「働き方」法案について、与党が衆院厚生労働委員会で23日の採決を狙ったことは言語道断

う以外にないものです。審議では、長時間労働をまん延させ、過労死を促進する危険が非常に高いことが明らかになっています。

全国過労死を考える家族の会は、高プロでは使用者

りません。与党は、維新や希望と法案を「一部修正合意」したことで採決の条件は整ったといいますが、危険を全く変えない「修正」では、法案を通す理由になりません。

法案づくりの出発点となった「労働時間等総合実態調査」は、データの2割以上に異常値があり、削除された代物です。法案の大前提はすでに崩れています。

安倍政権による疑惑暴引きを許さず、「働き方」法案などの悪法を阻む世論と運動を急速に広げることが求められます。

「森友」の改ざん前決裁文書と、「廃棄した」と説明してきた国有地払い下げをめぐる学園側との交渉記録を財務省が国会によつやく提出しました。また防衛省は、自衛隊のイラク日報隠ぺい調査結果を国会に報告しました。これらの文書や報告では、国政私物化や公文書改ざん、隠ぺいを続ける安倍政権の異常体質、重大な責任を一段と鮮明にされており、国会での首相の責任追及と徹底解明の必要性を浮き彫りにしています。

17年版「ジェンダーギャップ指数」(女性の社会進出の指標)で日本は年々順位を下げ114位(144か国中)だ。特に低いのが国会議員数で世界129位。セクハラ防止が法整備されてから20年経っても変わらない。「ジェンダー・フリー後進国」日本に未来はあるのか。加害者の誠意ある謝罪の声は未だ聞こえてこない。

第16回役員セミナー 他職種役員との 意義ある意見交換の場

4月28・29日、ホテルフ
ルーツフラーにて大阪労
連と関西勤労協との共催に
よる「第16回役員セミナー」
が開催され、全体で95
名、阪神支部からは7名が
参加しました。



長久講師の説明図解

岡山県労働者学習協会の
長久啓太氏を講師とし、
「生活のゆとりと労働組
合」をテーマに講演が行わ
れ、時間とお金のゆとりの
大切さ、団体交渉の重要
性、労働基本権（労働三
権）、時間短縮を求め
たたかかってきた歴史、
労働組合活動家こそ余暇
にかかわる事を学びまし
た。

カマヤン ゴンベのタネまきありむら潜



他人事ではなく 国民一人ひとりの問題

5月10日から14日まで沖
縄で開催された「第41回5
・15沖縄平和行進」に参加
しました。



参加者の阪神支部から

倉（松本（大運）さん）の
3名での参加でした。
初日は5・15全国結団式
を行い、各代表の方からの
挨拶があり、「団結カンパ
ロー」で氣勢を上げまし
た。その後ホテル
にて三単産の結団
式と平和学習会が
行われました。

の生徒と接する時間と、授
業準備にかかる時間と、そ
の合間や放課後に労働組合
としての運動の両立の大変
さ等、普段聞ける場が無い
ので、今回初めての参加と
なりましたが二日間を渡り
良い意見交換の場となりま
した。

執行委員 池口 光洋

分かるかな？

懸賞クイズ



次の文を訳してください。

「Now, now, see the man」

ちなみに、「今、今、男を見ろ」ではありません。
ちゃんと意味の通じる、日本語として正しい文章になり
ます。

619号の回答「16」

10名からの応募があり、全員が正解でした。
抽選により、以下5名の方々に図書カードを進呈します。

市川陽一・坂本光一（新神戸セキュリティ分会）、松井謙一
（三林分会）、柳田彩加・松林美琴（ジャパンEXP分会）
620号の締め切り日は6月21日（木）です。
ふるってご応募ください。

重なる墜落や落下事故等の
報告がありました。それに
伴う現地で暮らす人達が抱
えている不安や悩み等を直
接聞き、今までは他人事の
ように聞いていましたが、
耳を傾けて行く事が必要だ
と感じました。



歩くすらひを思いを平和

行進1日目は県民広場か
ら出発し、ひめゆりの塔ま
で20キロ程の道のりを行進
しました。我々全港灣が歩
くコースは、多くの方が犠
牲になり戦跡が残るコース
であり、行進しながら何十
年前は、この地で悲惨な事
が起きていたと思うと胸が
痛くなりました。行進2日
目は午前と午後で地方グル
ープに分かれ行進と南都視

察を行いました。私は午前
に行進、午後から視察でし
た。視察では、南風原文化
センターにて沖縄の歴史を
見て本当に悲惨な光景を目
の当たりにし、言葉に出来
ない気持ちになりました。
最終日の3日目は、宜野
湾市役所から出発し、宜野
湾海浜公園野外劇場までの
10キロ程の道のりを行進し

ました。行進途中に上空か
ら凄い爆音と共に戦闘機が
空を駆け抜けていき、沖縄
の現地の方はこれが日常か
と思うと負担が掛かっている
など思いました。ゴール
地点の宜野湾海浜公園野外
劇場では「平和とくらしを
守る県民大会」で一致団結
をし、2018年5・15沖
縄平和行進の幕を閉じまし
た。今回初めて参加させて
頂き、沖縄の地を自分の足
で実際に歩き戦争の爪跡を
目の当たりにし、決して他
人事ではなく国民一人ひと
りの問題なんだと思ひ知ら
された4泊5日の沖縄平和
行進でした。
大運分会 福井 一晃